

いま、台湾の風景にふれる



古来、九州は中国大陸、朝鮮半島、台湾などの近隣諸地域と、日本海・東シナ海を通じて活発な交流を行ってきました。もちろんそこには緊張や悲慘な出来事も含まれます。それでも昭和の中ごろに生を受け、福岡に長く暮らす私たちは、これらの地域とその友人知己を訪ねるたびに、心の底から親しみの情や懐かしさがこみ上げてきます。

しかし今般のコロナパンデミックによって、1年以上、直接の交流が途絶えたままです。これからまだしばらくはこの状態が続くのでしょうか。こんな状況ですが、いやこんな状況だからこそ、内向きに沈まず、野放図に過去の行動範囲の回復を求めるでもなく、他者の視点から、とりわけ、親しくも異なる海外の視点から、私たちのいままでの行動様式・グローバル化の課題を見直すことが、必要なのではないかとおもわれます。

そこで今期の景観セミナー／レクチャーシリーズでは、「いま、台湾の風景にふれる」を総合テーマにしました。今回は台湾でくらす日本人の風景研究者の方々のお話を伺います。また、台湾、沖縄、九州各地、朝鮮半島、中国北部を行き来する渡り鳥の生息という観点から、台湾の風景の大切さ、国際平和の大切さを考えるヒントを与えてくれる方のお話しをお聴きします。スクリーン越しではありますが、このセミナーをとおして、あたらしい風景認識と生活様式の創造のための手掛かりを、いっしょにさがしだすことができたらなあとおもいます。どうぞご参加ください。

景観研究センター所長 山下三平

photo by Koichi Nakama

九州産業大学景観研究センター 景観セミナー／レクチャーシリーズ 2021 前期

テーマ：いま、台湾の風景にふれる

■ 6月11日(金) 18:00-19:30

台湾の風景～境界を超えて

仲間 浩一 (台南應用科技大學 設計学院 室内設計系 専任副教授)

<https://ksu-keikanseminar2021f1.peatix.com/>

■ 7月2日(金) 18:00-19:30

クロツラヘラサギがつなぐ湿地の風景

高久 ゆう (Team SPOON 副代表、

東京工業大学 環境・社会理工学院 建築系 都市・環境学コース 博士課程)

<https://ksu-keikanseminar2021f2.peatix.com/>

■ 7月23日(金) 18:00-19:30

台南の風景にみる日本

梶原 宏之 (台南應用科技大學 観光学部 養生休閒管理学科 助理教授)

<https://ksu-keikanseminar2021f3.peatix.com/>

会場：Zoom ミーティング *各回とも Peatix にてお申し込みください

参加費：無料